

認定特定非営利活動法人
日本 NPO センター御中

下記の通り企画提案いたします。

団体名：

提出日 2016年 月 日

タケダ・いのちとくらし再生プログラム
第2期

第1回助成事業

【連携・協働枠】

企画提案書

■活動概要

事業名		
助成金額 (300~500万円)	万円	※1万円以下切り捨て

■主催団体概要

団体名				〔団体印〕
代表者 (役職・氏名)				
所在地	〒	—	TEL:	
			FAX:	
			Email:	
URL				
連絡責任者 (役職・氏名)				
連絡先	〒	—	TEL (携帯電話):	
			FAX:	
			Email:	
法人格の有無	<input type="checkbox"/> あり (法人格:)		<input type="checkbox"/> なし	
医療関係者の有無	(役員に医療関係者が) <input type="checkbox"/> いる		<input type="checkbox"/> いない	
団体設立時期	年 月 (法人格取得時期 年 月)			
設立目的と 通常の活動内容	(枠内に収まる様に記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)			
前年度決算 (単位:円) ※前期繰越金を含めず	総収入		総支出	
収入内訳 (単位:円) (%:収入全体に占める割合)	受取会費 収入	(%)	自主事業 収入	(%)
	寄付 収入	(%)	委託事業 収入	(%)
	補助金・ 助成金 収入	(%)	その他 収入	(%)
役員・会員 有給スタッフ	役員数		会員数	
	名		名	
				有給スタッフ数
				名

■東日本大震災以降の被災地でのこれまでの活動

(枠内に収まる様に記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)

■応募活動の概要

活動の目的	
主な活動地域	
主な支援対象者 (大まかな人数)	
活動実施の 背景	(活動地域・支援対象者の状況、問題(課題)の所在など)
活動によって目 指す地域・支援対 象者の姿	(「～が～されるようになる」という形式で、箇条書きで記述してください)

■活動内容

(枠内に収まる様に項目立てて記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)

(1)

①目標

②活動内容

(2)

①目標

②活動内容

(3)

①目標

②活動内容

■実施スケジュール

(枠内に収まる様に記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)
《2017年1月 助成期間開始》

《2017年7月上旬 中間報告提出》

《2017年12月末 助成期間終了》
《2018年1月末 最終報告提出》

■連携・協働団体概要 ※連携・協働団体が3団体以上の場合は上記の情報記入欄をコピーしてご使用下さい。

連携・協働団体①

団体名			〔団体印〕
代表者 (役職・氏名)			
所在地	〒 ー	TEL:	
		FAX:	
		Email:	
URL			
設立目的と 通常の活動内容	(枠内に収まる様に記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)		
応募事業での 役割			

連携・協働団体②

団体名			〔団体印〕
代表者 (役職・氏名)			
所在地	〒 ー	TEL:	
		FAX:	
		Email:	
URL			
設立目的と 通常の活動内容	(枠内に収まる様に記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)		
応募事業での 役割			

連携・協働団体③

団体名	〔団体印〕	
代表者 (役職・氏名)		
所在地	〒 ー	TEL: FAX: Email:
URL		
設立目的と 通常の活動内容	(枠内に収まる様に記入してください。フォントサイズ、行間の変更は自由です)	
応募事業での 役割		

■連携・協働の内容

<p>具体的な連携・協働のイメージ</p>	<p>(チャート図などを使ってわかりやすく全体像を説明してください。)</p>
<p>当該活動における連携・協働団体の強み(主催団体含む)</p>	<p>①主催団体</p> <hr/> <p>②連携・協働団体 ※団体毎にお書きください</p>
<p>連携・協働の意義と連携がもたらす変化</p>	<p>① 活動の目標や成果を達成するために連携・協働しなければならないことは何ですか？</p> <hr/> <p>② 連携・協働が今後、地域や関係者、自組織にどのような変化をもたらしますか？</p>

■実施予算

(1) 収入

項目	金額（単位：円）	内 容
1. 助成金応募額（A）		
2. 自主財源（B）		
3. その他の財源（C） （補助金、助成金など）		
合 計（=A+B+C）		

(2) 支出（費目ごとに助成金応募額の内訳を記入ください）

費目（※）	金額（単位：円）	内訳（利用する団体・内容・単価×個数など）
本助成事業（タケダ・いのちとくらし再生プログラム）にて充当する支出項目		
小計（=A）		
自主財源・その他の財源で充当する支出項目		
小計（=B+C）		
合 計 総 額 （=A+B+C）		

※費目例（人件費、旅費交通費、物品購入費、会議費、通信費、借損費など）

※費目数（行）は増やしていただいてもかまいません。